

愛する清須市発展のために



きよす 清須市長(愛知県) かとう しずはる 加藤静治
Shizuharu Kato

わがまち清須市歴史のまち

昨年11月に公開された三谷幸喜監督による映画「清須会議」は、皆さんご覧になられましたでしょうか。

清須市は、本能寺の変により織田信長(豊臣)秀吉らが後継者を決め、日本史上初めて合議によって歴史が動いたとされる清須会議が行われた「清洲城」のあるまちです。清洲城は当時あった場所から五条川対岸に場所を移し、平成元年に実在した外観や規模を想像しながら再建されました。現在は映画の影響もあり、休日になると多くの観光客でにぎわいを見せています。



清洲城にて市のイメージキャラクター「きよ丸、うるん」と撮影

本市の区域の歴史はるか遠く、尾張平野最大の遺跡である朝日貝塚やそれに接する竹村貝塚にみられる弥生時代にさかのぼります。現在は、清洲JCTが建設されその影もありませんが、昨年、朝日貝塚から出土された出土品2028点が、国の重要文化財に指定され、愛知県清洲貝殻山貝塚資料館で国重要文化財指定記念展が行われました。市においても、それに連動した展覧会を開催するなど、市内外から多くの方々にご覧いただきました。

その他には、ご存知の方も多いと思いますが、徳川家康公の命による清須の城下町を丸ごと名古屋に移転した清須越のまちであることや尾張徳川家にも献上された「宮重大根」の保存活動、200年以上の歴史を誇る五輜の山車が勇壮に練り歩く尾張西枇杷島まつりなど、郷土の伝統文化を継承しています。

史跡愛好家には、飽きないまちですので、皆さまのお越しをお待ちしております。

多彩な趣味は明日への活力

毎朝4時30分に起床、ストレッチで体を解し5時から朝の散歩、6時から3紙の新聞を隅々まで読んでから、連続ドラマを観て登庁します。朝の散歩は、毎日欠かしたことはありません。

朝早くに散歩をすることは、非常に静



早朝、清須市庁舎前の新川堤防を散歩する筆者

かで頭の中を整理するには最高の環境です。どんなに前夜遅くなっても、飲み過ぎたとしても、朝の散歩は譲れません。冬の真っ暗の中の散歩は、街路灯だけが頼りですが、太陽が昇り始めた時のすがすがしさはまた格別です。

こんな早い時間でも、私のような人間はいるようで、ほぼ決まった方と出会いあいさつを交わします。たまに、私が朝早く散歩することを聞きつけた方なのか突然、相談を持ちかけられることもあります。これもコミュニケーションと丁寧にお聞きするようにしています。

他の趣味としては、就職してから始めた囲碁を週1回ペースでやっています。囲碁は老化防止に最適で、頭のトレーニングに欠かせません。将棋の方がいいといわれる人もいますが、やはり最後の最

後で一発逆転ができる囲碁の方がスリルがあつて私は面白いと思います。頭を柔軟にし、明日への糧としています。

ゴルフは、20年続けていますが、練習に行つたことはありません。最初のハーフが練習ラウンドで、後半が本番です。スコアは二の次です。朝の散歩が効いているのか、崖の上や谷底にボールが行つても、おかげさまで問題なく進むことができます。しかし、ボールが飛ばなくなつてきたことは年々感じてきました。若者のボールは勢いがあつていいですね。

お酒を飲んだ後は、カラオケで歌いたくなります。中々時間がなく新しい歌を覚えることができないのが残念で、近所の喫茶店のママさんからも新しい歌



昨年7月の市長選挙で3選を果たした後、職員に出迎えられて初登庁

を勧められますが、私は決まったレパートリーでがんばっています。最後は決まってラーメンですね。昔ながらのしょうゆ味が好きで、「締めはラーメン」は皆さんと同じです。家に帰ればお風呂に入って即

睡眠です。何時であろうが、もちろん翌朝は4時30分起きです。

行政一筋、市民への奉仕が天命

昨年の7月の市長選挙において、市民の皆さまのご信任を賜り、三たび市政を担わせていただくこととなりました。責任の重さと新たな意欲を感じております。平成12年の東海豪雨では、市内各所で壊滅的なダメージを受け、自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。

また、未曾有の大災害となった東日本大震災では、今なお、復興に国民が一丸となつて取り組んでいるところでございます。本市においても、南海トラフ巨大地震による県内市町村の被害想定では、予想される震度が6弱から6強に引き上げられ、全壊家屋が約2800棟、死者は約50人にも上ると想定されました。このような地震に備えるためには、自分の生命、財産を自分で守る「自助」が大切になります。地域で助け合う「共助」の意識をより高めていただくことが重要となります。

行政にできることには限界がありますが、私が市政を担わせていただく上で、いかに被害を最小限に食い止めることができるかが、私に課せられた責任と考えております。

本市は、庄内川・新川・五条川が縦断

するまちで、普段は水辺環境が豊かな美しい川に囲まれています。しかし、いざ豪雨となれば様相も一変、濁流となります。水との戦いであります。治水対策においても、重点課題として取り組んでいます。

私は、常日ごろから職員に対し、「協働」が大切であると言っています。なんでも行政が行うのではなく、協働できるものは積極的に協働で行うよう進めています。これからのまちづくりに求められることは、市民の皆さまと目標を共有し、市民協働で進めていくことであると考えています。

これからも、清須市民の一人として、清須市を愛し、市民の皆さまとともに「安全・安心」そして「快適で元気な清須」を目指し誠心誠意取り組んでまいります。



年始の職員訓示において、今年1年の目標を述べる筆者